



港南小学校だより

10月

二十四節気・七十二候

<10月の二十四節気>

- ・10月8日 寒露
気寒く露草重し
- ・10月23日 霜降
霜結んで厳霜白し

<10月の七十二候>

- ・鴻雁来
こうがんきたる
→ががが飛来し始める
- ・菊花開
きくのはなひらく
→菊の花が咲く
- ・蟋蟀在戸
きりぎりすとにあり
→蟋蟀が戸の辺りで鳴く
- ・霜始降
しもはじめてふる
→霜が降り始める
- ・雲時施
こさめときどきふる
→小雨がしとしと降る
- ・楓薦黄
もみじつたきばむ
→もみじや薦が黄葉する

校長 船木 亮作

二学期が始まり、一か月が過ぎました。八月中は、残暑が厳しくコロナ対策と同時に熱中症対策が必要となりました。校庭での熱中症指数が危険領域に入り、校庭での体育や休み時間の校庭遊びもできなくなり、益々子供たちのストレスが溜まってしまっている状況にもなっていました。止む無く教室で過ごすことも多くなり、思い切った体を動かすこともできない日々が続きました。しかし、九月に入り少しずつ外の活動ができるようになり、子供たちの笑顔が戻ってきたことは大変良かったです。

八月の末、救済田文部科学大臣から児童及び保護者に向けてメッセージが発出されました。皆様にも配布いたしましたのでお読みになった方々も多かったと思います。そこには、コロナ感染者に対する差別や人権侵害を止め、思いやりの心をもつことが大切であることが書かれていました。以前、岩手県では、ずっと感染者がゼロの状況が続きましたが、最初の感染者が出た時、本人や会社に対する誹謗中傷は凄まじいものがあつたと報道されました。しかし、しばらくすると心ある方々から励ましの言葉や手紙が送られてくるようになったと聞きました。本校では、わかば学級と四年生の子供たちが医療従事者への感謝の気持ちを伝えるために「ブーケ」作りを行ったことを先月お知らせしましたが、八月の終わりに私が代表してその方々へ約四百束のブーケを届けに来ました。その際、看護師の皆さんからも言われた誹謗中傷やそのご子息まで差別的な発言を受けた経験があり、ぜひ、そのようなことをなくしてほしいとお話もいただきました。本校でも、各学級で再度、このことについて指導をいたしましたので、ぜひご家庭でももう一度話し合ってみていただければと思います。

地域や民族によって全く異なる絵柄を読み取ってききました。また、同じウサギであっても緯度が変われば、見方も変わります。南極観測に二度赴いた名古屋市科学館の小塩哲朗学芸員は、「南極で観察すると、月のウサギは仰向けに寝そべっていました。餅つき中には見えませんでした」と述べています。また、極地で撮った写真の中に、「観測船「しらせ」から見た月を収めた一枚があります。真つ白な氷山の向こうに、赤茶けた色の月が浮かんでいるように見えます。紺碧の空とは対比して神秘的で、日本で見るとは全く違うようです。このように同じ「月」を見てもそれぞれ感じる方が、見方によって全く違うのです。今更、コロナの件でも、色々な情報が錯綜し、不安を増加させた原因の一つでもあります。毎日、コロナのニュースが報道され、それを見ていると政治家や専門家、コメントーターが各々の視点からコロナウイルスについての見解を述べています。しかし、立場によって視点が違うのですから、ニュースをただ受動的にみているだけでは、自分が抱えていることに對する問題解決にはなりません。それぞれのところか、他人と自分を見失うことをわきまえていないとさらに自分を見失います。結局、何を信じているかは、自分で見つけるしかありません。情報を鵜呑みにせず、情報をもとに「自分で考える」これが必要になってきます。

私たち日本人は島国で育っているため、異文化理解教育(他者を受け入れる)の後進国とも言えます。私が以前赴任していたブラジルは多民族国家で、それが当たり前になっていました。肌の色、考え方、職業など様々なことが違って、生活の中にも「違い」が当たり前にあっていました。学級の中でも一人ひとり顔も違えば、性格、育った環境も違っています。ですから、そのような「個性」をもった子供たちが関わり、互いのよさを認め、自分に取り入れていくこととするのは、学級や学校において大変重要なことだと考えています。そのような多様性を受け入れられる子供たちに育ってほしいと願っています。

SOSの出し方に関する教育

誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指し、国では自殺対策基本法に基づき、自殺対策大綱を定めています。その中には、学校が推進すべき自殺対策に資する教育が三点示されています。

- ① 命を大切に実感できる教育
 - ② SOSの出し方に関する教育
 - ③ 心の健康の保持に係る教育
- 本校では、①については、特別の教科「道徳」の中で、③については体育科や特別活動の中で指導する計画になっています。

②は体育科や特別活動などを通じて、東京都教育委員会が作成したDVDやワークシートなどを発達段階に応じて使用しながら指導する計画となっています。この教育は、子供が、現在起きている危機的状況、又は今後起こり得る危機的状況に對するために、適切な援助希求行動(身近で信頼できる大人にSOSを出す)ができるようにすることを目的としています。

子供の不安や悩みを身近な大人が受け止め、支援することが求められています。最も身近な大人は保護者の皆様ですが、地域の方や学校の教職員も子供たちのSOSをしっかり受け止めることができると、三者で連携していきなさいと考えております。どうぞよろしく願っています。

(生活指導主幹 小清水 孝)



港南小学校HP

東京都港区港南4-3-28
TEL 3474-1501・FAX3474-1500

11月の主な行事予定

- 2日(月)食育月間始、ふれあい月間始、委員会活動
 3日(火)文化の日
 4日(水)4時間授業【12:45頃下校】
 5日(木)歯科検診(わかば・1・6年)
 6日(金)芸術教室(6年)
 8日(日)授業日
 学校説明会【14:30頃下校】
 9日(月)振替休業日
 11日(水)就学時健診【12:20頃下校】
 13日(金)保護者会(わかば・1・2・3年)
 16日(月)クラブ活動(アルバム用写真撮影)
 18日(水)保護者会(4・5・6年)
 19日(木)歯科検診(3・4年)
 21日(土)土曜授業日・わくわく教室保護者
 30日(月)食育月間始、ふれあい月間終
 下校時間変更【14:30頃下校】

副校長より

港南小学校では、子供たちが授業に取り組むにあたって、学習の準備や授業開始時刻を守る、挨拶、姿勢、発表の仕方や話し合いの仕方などの学習規律について日常から指導しています。教員も学習規律を確立するために、まず、自ら時間を守り、身の回りを整理整頓するなど子供たちの模範となるよう心掛けています。特に本校では、始業時間や終業時間にチャイムが鳴らない時もあります。理由は、子供たちが自分で時間を見て

行動する力を付けることが大切だと考えているからです。社会に出た際に、自分たちで時間の管理が出来るようになることが最も基本的で重要なスキルであると考えています。そこで将来、困らないよう学校生活の中で基礎・基本を身に付けられるよう今後も指導してまいります。ご家庭でも、時間を守ることを大切さを子供たちに伝えていただければ幸いです。

(副校長

久道 泰司
原島 謙二)

表彰

社交 Boys & Girls ソロダンスコンテスト
 ラテンの部 3位
 4年 石川 心愛

第45回
 千葉ジュニアサマーテニストーナメント
 シングルス ジュニア オープン
 10歳以下 女子シングル 3位
 4年 寺内 慈

10月の行事予定

1日	木	都民の日 授業日 内科健診(わかば・1年)
2日	金	発育測定(6年) 新聞社出前授業(5年)
3日	土	
4日	日	
5日	月	前期成績通知日 セーフティタイム、発育測定(5年) 委員会活動(アルバム用写真撮影)
6日	火	水道キャラバン(4年)
7日	水	発育測定(3年) 土曜時程5時間授業・清掃なし 下校時刻変更【13:50頃下校】
8日	木	
9日	金	発育測定(1年)
10日	土	土曜授業日 学校公開(2年1・2h、5年3・4h) セーフティ教室(2年3h)
11日	日	
12日	月	発育測定(わかば)
13日	火	
14日	水	土曜時程5時間授業・清掃なし 下校時刻変更【13:50頃下校】
15日	木	歯科検診(5年)
16日	金	耳鼻科検診(3・4年)
17日	土	
18日	日	
19日	月	聴力検査(3年)
20日	火	聴力検査(2年)
21日	水	聴力検査(1年) 土曜時程5時間授業・清掃なし 下校時刻変更【13:50頃下校】
22日	木	聴力検査(5年)
23日	金	聴力検査(わかば)
24日	土	土曜授業日 学校公開 (3年1・2h、6年スポーツフェスタ)
25日	日	
26日	月	クラブ活動(4・5・6年)
27日	火	耳鼻科検診(わかば・1・6年)
28日	水	避難訓練 土曜時程5時間授業・清掃なし 下校時刻変更【13:50頃下校】
29日	木	歯科検診(4年)
30日	金	
31日	土	

	わかば	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数(人)	30	229	223	220	234	214	199	1349

(9月30日現在)

一年生より

当番活動

九月から給食当番・掃除当番が始まりました。

掃除当番では例年、六年生が掃除の時間に一年生の教室へ出張し、ほうきや雑巾の使い方を教えてくれます。今年度は、コロナウィルスの影響もあるため、同じ下校時刻の二年生に教えてもらい、放課後に少人数で行っています。数少ない異学年との交流の中で、楽しく、しっかりと掃除をする姿が見られます。

給食当番では、ご飯や汁物、おかずなどのよい方を指導しています。おたまやしやもじの持ち方、よそう量など一つ一つ丁寧に伝え、子供たちは自分の役割を果たそうと一生懸命活動しています。

掃除当番や給食当番を通して、一人ひとりが学級の一員であることや、学級のために役割を全うすることの喜びに気づき、楽しく活動することが子供の成長に繋がると考えています。引き続き担任一同、指導してまいります。

(七組担任 亀井 真希)

一年生を迎える会

全校で一年生を迎える「一年生を迎える会」では、二年生から六年生の上級生からビデオメッセージやプレゼントをもらいました。

二年生から朝顔の種や手紙を、四年生からは港南小学校紹介新聞、そして六年生からは一人一人にメッセージの書かれた素敵なメダルをもらいました。もらった一年生は、じつくりとメッセージを読んだり、友達と見せ合ったりして、とても喜んでいました。さらに、三・五年生からは学校について動画で紹介してもらい、港南小学校についてより詳しくなれました。

一年生は、上級生からの温かい歓迎のお礼に、「ありがとう動画」を作りました。感謝の気持ちが伝わる様に各学級で言葉を練習し、録画しました。港南小学校の一員として迎えてもらったことの嬉しさや喜びを伝えることができました。

(五組担任

栗田 純)



生活科の授業

生活科の授業では、一学期からアサガオの観察・お世話をしてきました。夏休み明けは花の咲く様子や種の収穫を通してアサガオの成長を感じるとともに、これからも継続してお世話をしようという意欲をもつことができました。

また、九月から「なつとなかよし」の学習を行ってきました。季節の遊びを各クラスで考え、子供たちの意見を基にシャボン玉や夏祭り、魚釣りをするなど友達と一緒に楽しみました。その経験を通じて、身の回りの材料を使って船づくりをし、水に浮かばせて遊びました。「船の材料は何を使うといいかな」「牛乳パックやトレイは軽いから水に浮きそうだな」「どうしたら船が進むかな」など、船の工夫を考えたり友達の船の作りを真似してみたりするなど、何度も作り直す姿が見られました。様々な船の工夫を考えて、クラスの友達と楽しく遊ぶことができました。

(四組担任 小林 鮎美)

図工専科より

図画工作科の授業では、子供たちは自分の考えを工夫して表現することにとても意欲的で、いつも友達と関わりながら楽しく活動しています。毎日、教師の予想を超える工夫や柔軟な発想に出会うことができ、子供たちに内在する想像力の豊かさを実感しています。

図画工作科において大切に行っていることは、自他の表現の異なるよさに気付く

ことです。校内では、学習の成果を互いに鑑賞できるように、常時図工作品を展示しています。他学年の作品に関心をもったり、友達の表現に関心をもって感想を言い合ったりする中で、自己肯定感や多様性を尊重する心情が育まれてほしいと願っています。

(図工専科 金子 文香)

給食室より

港南小の給食は、出来立てを食べてもらえるように、学校の一階にある給食室で作っています。本校は児童・教職員合わせて毎日約一五〇〇人分の給食を作っていて、食に携わっているのは調理員（株式会社東京天竜）一四名と栄養士一人です。

コロナ禍前から、調理前やトイレ休憩後に二度の手洗い、アルコールや次亜塩

素酸ナトリウムでの消毒の徹底、出勤時には体調（発熱・下痢等）・手荒れ・爪などのチェックを必ず行っています。そして、月に二回腸内細菌検査を行います。服装は髪の毛が出ないように帽子を着用し、マスクも常に着用します。安全でおいしい給食を作るために、これからも衛生管理に努めていきます。

(栄養士 佐藤 美知)

運動委員会

委員会 紹介

代表委員会

代表委員会は、港南小学校の代表として活動する委員会です。主な活動として、グラウンドの三旗掲揚、大きな行事の司会進行、スローガンの制作があります。

今年度は、運動会やウィンターフェスタが中止となり、歴代の代表委員会が今まで築き上げてきた活動が充分にできなくなりました。そこで今年度は、委員長を中心に、子供たちと一緒に一から活動内容を考え、新しい活動を取り入れていく予定です。各学年でも、各学級の代表としての自覚をもち、様々な場面で活躍しています。子供たちが主体的に活動していけるように支援していきます。

(代表委員会担当

久保田 智洋)



運動委員会では、体育の授業をスムーズに行えるようにすることを目的に、体育倉庫の整理整頓を行っています。

グラウンドの体育倉庫は、その時期に行っている授業で使用するもの、使用しないものに分けるために、用具を移動させたり出しやすくするために並べ替えたりしています。体育館の倉庫はたくさんあるボールを種類ごとに並べたり、跳び箱やマットの整頓をしたりしています。

「体育倉庫が整頓されていて使いやすいね」と声を掛けてもらうほど、全員が責任感をもって活動することができています。引き続き、港南小の体育の授業がスムーズに行えるように、活動を支援していきます。

(運動委員会担当 山崎 愛未)

栽培委員会

図書委員会

港南小学校には、読書が好きな児童が多くいます。図書委員会では、気持ちよく学校図書館を利用できるように取り組んでいます。

主な活動内容は、休み時間に本の貸し借りをしたり、本棚を分類番号事に揃え、整理整頓を行ったりしています。

今年度は、新しく入った本の紹介文を書き、多くの人に本への興味が広がるよう活動しています。また、図書室の使い方やマナーについて分かりやすいよう動画を作成し公開する予定です。

今後も沢山のの人に利用してもらえよう図書委員一同取り組んでいきます。

(図書委員会担当 田之上 温子)



校庭のプランターに、季節を彩る花を植えて世話や手入れを行い、港南小学校のみなさんの目を楽しませることが栽培委員会の仕事です。毎日の水やりや、雑草の手入れも欠かせません。栽培委員会のメンバーは、そんな地道な活動を、コツコツと続けることができる点が素晴らしいです。

先日の委員会では、季節に合った花を調べました。「寒い季節は景色が寂しいから、なるべく暖かい色の花を選びたい」という意見が上がり、十月はコスモス、十一月はビオラなどを植えることになりました。

これからも、みなさんの目を楽しませ、花を見て心がほっと優しくなるような花壇を作れるよう、活動を支えていきます。

(栽培委員会担当

漆崎 綾乃)



ボランティア委員会

環境委員会

環境委員会では、環境をよりよくするために学校の中でできるエコ活動を行っています。今年度も、主にペットボトルキャップ回収と古紙回収に取り組む予定です。

昨年度は、たくさんの方のキャップをお持ちいただきありがとうございました。一つでも多くのキャップを回収し、資源の再利用に取り組みたいと思いますので、今年度も引き続きご協力お願いいたします。

古紙回収では、各学級で不要になった紙類を集め、リサイクルに出せるよう分別に取り組んでいます。

今後も環境委員会のみんなで意見を出し合いながら、自分たちにできることを考えて取り組んでいきます。

(環境委員会担当 檜垣 史)

ボランティア委員会は、今年度「ベルマーク」や「一円玉募金」、「ユニセフ募金」などの活動を行う予定です。

コロナウイルスの影響もあり、全校児童にどのような方法で活動内容をお知らせするか、募金活動や回収活動、事後の報告会をするか、考えることから始めています。

様々なボランティア活動に取り組む中で、世界の情勢やボランティア活動の意義などを学び、子供たちの豊かな心を育てていきます。

初めての試みのベルマーク活動が活発化するよう、ご協力よろしく願いいたします。

(ボランティア委員会担当

亀井 真希)

